

第 87 回 学長選考・監察会議議事概要

- 1 日 時 令和 5 年 1 月 24 日（火）16 時 15 分～17 時 45 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 三輪委員，小田委員，佐久間委員，森委員，
柴田委員，松尾委員，染矢委員，富田委員，小野寺委員 以上 9 名
*欠席者：伊藤委員
*オブザーバー：田代監事，逸見監事

4 議事概要の確認

第 86 回学長選考・監察会議議事概要が確認され，承認された。

5 議事

(1) 学長在任 3 年間の業績評価について

学長在任 3 年間の業績評価について，以下のとおり関係者及び監事からの意見聴取を行った。

①関係者の意見聴取

関係者の意見聴取として，坂本理事，末吉理事，川端理事の 3 名から，学長在任 3 年間の業績評価に係る「学長面談時の質問事項」（令和 4 年 10 月 20 日学長選考・監察会議承認）に基づき，教育，研究，社会との共創に関して，意見聴取を行った。

(主な意見及び質疑等)

- ・目指している方向性はすばらしいと思う。目指している方向性について，これまでの実績を積み上げてきたからこそ，ここまできているという評価もできる。一方で，簡単に成果があがるわけではないという難しさも感じた。
- ・首長の中には，こういうことをしてほしいという強い思いを持つ首長が多くいる。大学のほうから，取り組んでいることや市町村と連携して取り組んでいきたいことを広報して，市町村の意見を聞きながら，市町村の持っている特質性や優位性のあるところに働きかけてみてはどうか。

- ・社会との共創やリカレント教育などの新しい取り組みに対して、個々の教員レベルまで十分な戦略が描けていないのではないかと
いう印象があり、今後、執行部と一緒に考えていかなければならない
と思っている。
- ・第4期は、理系や文系の垣根なく、社会的あるいは企業の課題に対し
て大学が貢献できるように、壁を取り壊して文理融合テーマに対応し
ていく必要があると思っている。
- ・教員の意識改革が進んでいると感じている。しかし、取り組みはすば
らしいが、成果に結びつけるにはどうしたらよいのかというところが
苦戦しているとも感じている。その突破口を開くための工夫が必要だ
ろう。
- ・新潟大学の教育をどう特化させて、オンリーワンにして、全国・世界
から学生を集めるか、大きなグランドデザインを考えてプロモートす
ることが必要だろう。

②監事の意見聴取

田代監事及び逸見監事から、「令和3事業年度監事及び会計監査人の監査報告書」及び「令和3年度監事監査意見書」に基づき、意見聴取を行った。

(主な意見及び質疑等)

- ・監事監査意見書には、同窓会について卒業した留学生の組織化を考
える時期にきているとの意見が記載されているが、具体的にどうい
うことを考えているのか。
- ・今まで全く何も連絡をとっていない状況であった。担当において、
オンラインを活用した取り組みを検討している。
- ・全学同窓会について、他の旧六大学は学内組織となっているが、本
学は学外組織となっている。このことについて、何か考えているか。
- ・担当において、今のところ他大学の状況を調査している段階であり、
今後、この結果を踏まえてどうするのか検討することになっている。